

平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月7日

上場会社名 株式会社和井田製作所 上場取引所 東
 コード番号 6158 URL http://www.waida.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩崎 年男
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 名和 芳治 (TEL) 0577-32-0390
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	639	△58.9	△183	—	△185	—	△104	—
25年3月期第1四半期	1,555	—	201	—	184	—	101	—

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 △80百万円(—%) 25年3月期第1四半期 75百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	△15.71	—
25年3月期第1四半期	15.38	—

※ 当第1四半期連結累計期間より、会計方針を一部変更しております。詳細は四半期決算短信(添付資料)4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。また、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号)に基づき、前年同期については各財務数値に対して遡及処理を行っております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	8,017	4,590	57.3
25年3月期	8,039	4,686	58.3

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 4,590百万円 25年3月期 4,686百万円

※ 当第1四半期連結累計期間より、会計方針を一部変更しております。詳細は四半期決算短信(添付資料)4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。また、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号)に基づき、前期末については各財務数値に対して遡及処理を行っております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	6.00	—	0.00	6.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	0.00	—	4.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,072	△21.8	△102	—	△110	—	△76	—	△11.57
通期	5,128	11.5	118	—	102	—	48	—	7.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成25年3月期の財務数値に対して遡及処理を行っているため、対前期増減率及び対前年同四半期増減率は遡及処理後の数値との比較によるものであります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 ー社(社名)ー、除外 ー社(社名)ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	7,028,000株	25年3月期	7,028,000株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	399,294株	25年3月期	399,294株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	6,628,706株	25年3月期1Q	6,628,706株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く工作機械業界は、政府による各種政策や円高是正等による国内景況感の改善、堅調に推移した米国経済の影響により回復傾向にある一方、昨年秋季以降継続している中国経済の停滞等の影響により、回復の足取りは緩やかなものとなりました。

当社グループの受注環境におきましては、国内における各種政策による効果が顕在化するまでに時間を要していること、海外の主力市場である中国においても景気の立上りが遅れていることから、受注は回復基調にあるものの四半期内の販売として取り込むことができず、当第1四半期連結累計期間の業績は厳しいものとなりました。

このような状況の下、当社グループは、海外における経営環境の変化に対応するため、合併会社（台湾）の生産販売活動やH A A S社（ドイツ）との販売活動により海外における生産販売態勢の充実に努めてまいりました。製品開発といたしましては、CNC成形研削盤の最上位機種や全自動CNC複合外周研削盤の新たな標準機及び新分野戦略製品を主力化させるとともに、新型CNC成形研削盤の開発、溝入れ工具研削盤の量産型の開発及び当社グループのコア技術を活かした特定ユーザーとのコラボレーションによる新市場及び新事業の創造に取り組んでまいりました。また、平成25年4月には中国の北京で開催されたCIMT2013(中国国際工作機械展)に、次世代の全自動CNC複合外周研削盤を出展いたしました。

この結果、当社グループは、当第1四半期連結累計期間において、売上高は639百万円(前年同期比58.9%減)、営業損失は183百万円(前年同期は201百万円の営業利益)、経常損失は185百万円(前年同期は184百万円の経常利益)となり、四半期純損失は104百万円(前年同期は101百万円の四半期純利益)となりました。

品目別に業績を示すと、次のとおりであります。

① 金型関連研削盤

既存製品及び新製品等の戦略製品を投入いたしましたでしたが、中国を中心としたアジア市場及び国内市場ともに引き続き低調であり、結果として、売上高は230百万円(前年同期比1.3%増)となりました。金型関連研削盤における売上高は、当社グループの総売上高の36.1%を占めております。

② 切削工具関連研削盤

国内及び中国を中心に既存製品及び新製品等の戦略製品を投入いたしましたでしたが、低調な切削工具関連業界動向の煽りを受け、結果として、売上高は194百万円(前年同期比81.6%減)となりました。切削工具関連研削盤における売上高は、当社グループの総売上高の30.5%を占めております。

③ その他の機械

新分野製品を中心に市場投入いたしましたでしたが、売上高は55百万円(前年同期比52.3%減)となりました。その他の機械における売上高は、当社グループの総売上高の8.7%を占めております。

④ アフターサービス

アフターサービス(有償修理)及びメンテナンス部品については、売上高は157百万円(前年同期比4.9%増)となりました。アフターサービスにおける売上高は、当社グループの総売上高の24.7%を占めております。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

総資産は、前連結会計年度末に比べ21百万円減少し、8,017百万円となりました。これは、主として仕掛品が346百万円増加し、受取手形及び売掛金が237百万円、商品及び製品が188百万円減少したことなどによります。

負債は、前連結会計年度末に比べ75百万円増加し、3,427百万円となりました。これは、主として支払手形及び買掛金が97百万円増加したことなどによります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ96百万円減少し、4,590百万円となりました。これは、主として利益剰余金が121百万円減少したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期通期の連結業績予想につきましては、平成25年5月9日に公表いたしました連結業績予想から変更ありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は従来、国内向け工作機械は工場出荷した日をもって売上を計上しておりましたが、当第1四半期連結会計期間から、顧客検収日をもって売上を計上することに変更いたしました。

この変更は、国内向け工作機械の出荷から検収までの期間が長期化する傾向にあることをふまえ、新原価計算システムが当期稼働したことを機に、収益認識基準を検収基準に変更し、工作機械販売に係る契約の実態をより適切に財務諸表に表示することを目的としたものであります。

当該会計方針の変更を遡及適用し、前年同四半期及び前連結会計年度については、適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表としております。

この結果、遡及適用を行う前と比べて、前連結貸借対照表は、受取手形及び売掛金が233,880千円減少し、商品及び製品が188,536千円、繰延税金資産が16,858千円増加し、利益剰余金が28,485千円減少しております。

また、前第1四半期連結累計期間の売上高は149,761千円増加し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は45,670千円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,008,549	1,960,264
受取手形及び売掛金	1,007,110	769,156
商品及び製品	214,669	26,133
仕掛品	829,405	1,175,978
原材料及び貯蔵品	493,583	547,600
未収還付法人税等	143,375	146,494
繰延税金資産	63,816	129,748
その他	27,148	59,700
貸倒引当金	△111	△69
流動資産合計	4,787,547	4,815,007
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	939,394	917,308
機械装置及び運搬具(純額)	423,768	397,873
土地	884,077	880,252
その他(純額)	307,444	301,009
有形固定資産合計	2,554,685	2,496,444
無形固定資産		
	41,389	42,567
投資その他の資産		
投資有価証券	353,698	383,781
関係会社株式	44,198	42,974
繰延税金資産	104,196	97,148
その他	154,966	141,044
貸倒引当金	△1,399	△1,399
投資その他の資産合計	655,660	663,548
固定資産合計	3,251,735	3,202,559
資産合計	8,039,283	8,017,567
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	250,648	348,030
短期借入金	715,000	775,000
1年内返済予定の長期借入金	504,076	454,878
その他	219,523	170,202
流動負債合計	1,689,247	1,748,110
固定負債		
長期借入金	1,185,370	1,210,872
長期未払金	138,760	134,410
退職給付引当金	121,722	130,977
その他	217,208	203,111
固定負債合計	1,663,060	1,679,370
負債合計	3,352,308	3,427,481

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	843,300	843,300
資本剰余金	881,244	881,244
利益剰余金	3,239,332	3,118,330
自己株式	△310,664	△310,664
株主資本合計	4,653,212	4,532,210
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	71,709	93,352
為替換算調整勘定	△37,946	△35,476
その他の包括利益累計額合計	33,763	57,875
純資産合計	4,686,975	4,590,086
負債純資産合計	8,039,283	8,017,567

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	1,555,028	639,092
売上原価	1,009,432	500,265
売上総利益	545,596	138,827
販売費及び一般管理費	343,891	322,560
営業利益又は営業損失(△)	201,704	△183,732
営業外収益		
受取利息	44	26
受取配当金	5,034	5,302
受取賃貸料	3,315	4,020
為替差益	—	508
その他	3,428	972
営業外収益合計	11,821	10,830
営業外費用		
支払利息	10,687	6,647
持分法による投資損失	—	3,119
為替差損	15,575	—
その他	2,468	3,176
営業外費用合計	28,731	12,943
経常利益又は経常損失(△)	184,794	△185,845
特別利益		
固定資産売却益	7,186	—
特別利益合計	7,186	—
特別損失		
固定資産除却損	505	0
投資有価証券評価損	10,641	—
減損損失	—	1,158
特別損失合計	11,146	1,158
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	180,834	△187,004
法人税、住民税及び事業税	24,800	1,321
法人税等調整額	54,093	△84,183
法人税等合計	78,893	△82,861
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	101,940	△104,142
四半期純利益又は四半期純損失(△)	101,940	△104,142

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	101,940	△104,142
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△20,697	21,642
為替換算調整勘定	△2,764	574
持分法適用会社に対する持分相当額	△2,520	1,895
その他の包括利益合計	△25,982	24,112
四半期包括利益	75,957	△80,029
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	75,957	△80,029
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。